

- ③ 委託事業の見直し 【歳出削減額：23,967千円】
(北部衛生クリーンセンターのゴミ収集業務委託の一元化による削減等)
- ④ 第3セクター法人等の統廃合・整理見直し 【歳出削減額：3,000千円】
(財富ふるさと振興公社への町費の削減)
- ⑤ その他事務事業の見直し 【歳出削減額：8,289千円】
(奥津、上齋原、富振興センター宿直業務の廃止。連絡所業務の廃止)

(2) 公共施設の管理運営の見直し

- ① 文化施設、スポーツ施設等に係る経費の節減 【歳出削減額：5,844千円】
- ② その他施設 【歳入効果額：2,017千円】
(北部衛生クリーンセンターにおける資源化物の売却収入)

(3) 補助金の整理・合理化と協働のまちづくり

- ① 組織育成補助金と団体運営補助金の見直し 【歳出削減額：926千円】
(各種団体運営の見直しと補助金の削減)
- ② 事業補助金の見直し 【歳出削減額：7,997千円】
(補助事業の交付要件等の見直しによる削減)

(4) 行政組織機構の再編と給与・定員適正化

- ① 定員の適正化 【職員数H17年4月1日:325人 H18年4月1日:318人 H19年4月1日:307人(病院を含む全職員)】
(退職勧奨制度を拡充し早期退職による削減や、退職に伴う新規職員の採用抑制、課の統廃合及び振興センター業務の見直し、事務事業の合理化により削減した)

(5) 財政の適正かつ健全な運営

- ① 町税・国保税、水道・下水道使用料及び保育料の徴収体制の強化 【歳入効果額：67,167千円】
- ② 未利用財産の有効利用 【歳入効果額：803千円】
(鏡野町有線テレビ局舎及びインターネット回線使用料の徴収他)
- ③ 基金等の運用 【歳入効果額：18,200千円】
(基金の運用を定期預金から一部国債に変更し利子の増加を図るなど、積極的な基金運用を行った)
- ④ 人件費の削減 【歳出削減額：160,711千円】
- ⑤ 公債費の削減 【歳出削減額：1,407千円】
(毎年度の起債発行額を元金償還額の70%以内に抑制し、後年度における公債費の削減を図った)

※公債費とは、町が道路や学校などをはじめとした社会資本の整備に充てるため、国や銀行などから借り入れた借金（地方債）を返済する費用です。

※ 行財政改革実施後の財政見通しは次のとおりです。

